

ライフサイクル制度、業務外注化、ダイ改合理化、基地統廃合、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

運転士・車掌は「事務職」?

社友会による労組破壊・ジョブローン攻撃うち破ろう

来年度の募集に関する会社HPの内容は衝撃的です。なんと乗務員は職種として「事務職(事務)」に分類されているのです。Q&Aでは「車掌・運転士になりたいならエリア職の事務職(事務)に応募せよ」と回答しています。

今年3月の乗務員勤務制度改悪で、支社企画部門等との兼務での乗務が強行されました。さらに、「乗務員はあくまで事務職」と位置づけ、「企画部門との兼務が通常」にしようとしているのです。「変革2027」の「JR本体に残す鉄道業務は企画部門と込み運用できるものだけ」という構想そのものです。

社友会と一体の労組破壊に反撃を

6月21日に人事部と厚生部を統合して設立された「人財戦略部」が動き出しています。「労使交渉のポイント」として組合との議論を各職場に「報告」したり、社内報でジョブローテーションのQ&Aを行ったりしています。明らかに社友会と一体の労働組合破壊の攻撃です。

そこでは、「将来の夢に向かって」「キャリアをオーダーメイド」と歯の浮くような言葉が並ぶ一方、「生涯乗務員ではなく多様な経験」「10年を超えない」と露骨に語っています。

「キャリアのオーダーメイド」など誰がどう見ても嘘です。会社のいう「キャリアアップ」のポストも、乗務員全体からすればごく僅かです。結局、「運転士を10年やつても出世できないなら駅子会社に出向しろ」と言いたいのです。

社友会ではなく闘う労働組合を！

乗務員という仕事を徹底して軽んじ、労働者をコマのように扱う会社の態度は本当に怒りに耐えません！そして、社友会にだけは入ってはなりません！現場労働者を黙らせ、ジョブローテーションや無制限なワンマン拡大による運転士・車掌への攻撃を実現するためのものだからです。

必要なのは闘う労働組合です。ジョブローテーション・ワンマン化反対を貫き、職場から声を上げよう。

Q：車掌・運転士になりたい

A：エリア職の事務職(事務)へのご応募をおすすめします。

Q：駅ですっと働きたい

A：駅での勤務を希望される方は、駅業務の採用を行っているグループ各社(JESS等)にご応募ください。
(採用情報Q&Aより)

Q：乗務員になりたくて入社した。退職まで乗務員を続けることはできないということか？

A：これからは生涯乗務員ではなく、多様な経験を積んでいただきたい。
(人財戦略部Q&Aより)

駅業務について、
「駅で働きたいならグループ会社に応募を」と回答しています。もはや駅業務はJR本体ではなくグループ会社の仕事だといっているのです。